

## 2024年度省エネ大賞「省エネルギーセンター会長賞」を初受賞

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之夕 裕美）は、2024年度省エネ大賞において省エネ事例部門「省エネルギーセンター会長賞」を初めて受賞しました。

省エネ大賞は、一般財団法人 省エネルギーセンターが主催する事業者や事業場等において実施した他の模範となる優れた省エネ・脱炭素の取り組みや、省エネ性・CO<sub>2</sub>削減において優れた製品並びにビジネスモデルを表彰するものです。この度当社が取り組む「カーボンニュートラル実現に向けた大気式リフローはんだ付け工法の開発」が、本大賞において省エネ型社会の構築に寄与するものとして評価され、受賞にいたりました。

今後も東海理化は、カーボンニュートラルの実現と持続可能な社会への貢献を目指し、これからも積極的に取り組みを進めてまいります。



「2024年度省エネ大賞（省エネ事例部門）」受賞マーク

### <今回の受賞テーマ>

『カーボンニュートラル実現に向けた大気式リフローはんだ付け工法の開発』※

#### 特長①：大気式リフロー用ソルダーペーストの開発

- ・従来、車載電装品のはんだ付けは大量の窒素を使う窒素式であった。今回、使用環境が車室内製品に対し、同等のはんだ付け性と長期信頼性の両立を実現した窒素を使用しないソルダーペーストを新規開発。

#### 特長②：大気式リフローラインの実現

- ・新規開発したはんだ付け材料を活用し、はんだ付け工程において窒素を使用しないことで、工程内で発生するCO<sub>2</sub>や消費電力を低減。（年間CO<sub>2</sub>排出量▲6.54t、年間電力低減▲14.19%の省エネ効果を実現）

※本開発は、千住金属工業株式会社との共同開発です。

（参考）省エネ大賞の詳細や受賞一覧について (<https://www.eccj.or.jp/bigaward/item.html>)

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社東海理化 総務部広報室（0587-95-5211）